

〇〇万円の売り上げ増加となりました。

今年も更に高値になるよう期待しております。

また、昨年暮れには、静内産馬のダートG1馬が続けて輩出され、今年に弾みが見られるものと期待をするところで。

当JAの平成28年度の農畜産物の生産基盤強化に向け、経営の複合化や経営規模の拡大と新規就農、担い手対策を進めて参ります。

このために産業奨励事業による支援や新ひだか町の新規就農・担い手対策事業を行政とともに進めて参ります。

今日の取引市場は、良品質な製品を安定的に出荷することを求められていることから、今後も栽培技術の向上により、ブランド化を図り、より強い農業経営を目指して頂きたいと願っております。

地域農業の担い手確保対策については、昨年、新規就農の2期生3組6名の研修生が農業を始めました。

今年度も既に3期生3組6名が就農しております。今後も研修生の積極的な受け入れと農業後継者の育成を図り、農業の担い手の確保に取り組んで参りますので、組合員皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

当JAの各事業については、総会資料に詳しく掲載しておりますが、今年度の決算は、計画を上回る6595万円の剰余金を計上することが出来ました。

このことにより自己資本比率は、前年度末の9・74%から0・42%増加し、10・16%となりました。厳しい経営環境の中、組合員皆様のご理解、ご協力に心より感謝する次第です。

現在、当JAは「要改善JA」の指定を受け、更に平成28年1月からは、JAバンクールの規制が強化されたことから、今日の改善計画を見直し、役員一体となつてJA財務の改善強化に取り組んでいるところで。

どうか、組合員の皆様には、そのことをご理解、ご支援をお願い致します。

次にJAの合併につきましては、3JAとも財務改善の取り組み中で、その環境が整うまで協議を引き続き行つて参りたいと思っておりますので、ご理解をお願い致します。

最後になりますが、今年度の当JAのテーマとして、農家個々の経営力を強くし、安定した農家経営を目指すため強い農家作りを意識して参りたいと考えております。」と挨拶がありました。



議長には、小池孝義氏、藤川靖仁氏が選出され、上程された10議案全てが原案通り可決となりました。そして、決議事項として提出された「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議(案)」について、落合信幸JAしずない青年部長が朗読し、出席者全員からの満場一致で承認されました。

